レベル		学習時間[※1]	留学分野における言語活動ごとの目標[※2]				
			言語活動共通				
			聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
必須の設定レベル	A1	100～150時間 134～200単位時間	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。				
			当人に向かって、丁寧にゆっくりと話された指示なら理解できる。 短い簡単な説明なら理解できる。	非常に短い簡単な文を、身近な名前、単語や基本的な表現を一つずつ取り上げて、必要であれば読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。	簡単な質問を聞いたり、答えたりすることができる。 直接必要なこと、もしくはごく身近な話題についての簡単なことを、自分から言ったり、相手の言ったことに反応できる。	人物や場所について、単純な字句を並べて、述べることができる。 自分について、自分が何をしているか、自分が住んでいる場所を、述べることができる。	簡単な表現や文を単独に書くことができる。 自分自身について、どこに住んでいるか、何をする人なのかについて、簡単な句や文を書くことができる。
	A2	100～150時間 134～200単位時間	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応じることができる。				
			短い、はっきりとした、簡単なメッセージやアナウンスの要点は聞き取れる。 ゆっくりと、はっきりと話されれば、身近な話題の会話はおおかた分かる。	非常によく用いられる、具体的で身近な内容の短い簡単な文が理解できる。 短い手紙やメールが理解できる。 日常の看板や掲示を理解することができる。	あまり苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。 招待や提案、謝罪をすることができ、またそれらに応じることができる。 他の人の意見に賛成や反対ができる。	人物や日常生活、日課、好き嫌いなどについて、単純な記述やプレゼンテーションができる。 その際簡単な字句や文を並べる。	自分の周りにある日々のいろいろな側面、例えば、人物、場所、学習体験などについて、つながりのある文を書くことができる。
	B1	150～220時間 200～294単位時間	仕事、学校、娯楽でふだん出合うような身近な話題について、共通語による話し方であれば、主要点を理解できる。身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結び付けられた、脈絡のあるテクストを作ることができる。				
			学校、余暇などの場面で普段出合う、ごく身近な事柄について、共通語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。 話が共通語で、発音もはっきりとしていれば、自分の周りでの長い議論の要点を理解できる。	簡潔な事実関係の文で、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、充分に主題を理解できる。 個人の手紙を読んで、出来事、感情、希望の表現を理解することができる。	共通語による言葉遣いではっきりとした発音であれば、事実に関した情報をやり取りしたり、指示を受けたり、実際的な問題の解決策を論じたりする、定例の公式の議論に参加することができる。	経験や出来事、将来の夢や希望などを語ることができる。 意見や計画に対する理由や説明を簡潔に話すことができる。 本や映画のあらすじを話し、感想や考えを発表できる。	短い別々になっている要素を一つの流れに結びつけ、自分の関心が及ぶ身近な話題について簡単な文章を書くことができる。 現実のことであれ想像上であれ、最近行った旅行や出来事を記述できる。
	B2	350～550時間 467～734単位時間	進学を希望する専門分野の議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解できる。お互いに緊張しないで熟達した日本語話者とやり取りができるくらい流ちょうかつ自然である。				
			内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的／専門的なプレゼンテーションの要点が理解できる。 たいていのテレビのニュースや時事問題の番組が理解できる。	適切な参考資料を選択して使いながら、さまざまな目的や文章の種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら、独力でかなりのところまで読み解ける。 広汎な語彙力を持っているが、頻度の低い慣用句には手こずることもある。	学術的、もしくは余暇に関する幅広い話題について、流暢に、正確に、そして効果的に言葉を使うことができ、考えと考えの間の関係をはっきりとさせることができる。 文法も正確で、その場にふさわしい丁寧さで、自然にコミュニケーションできる。	自分の関心のある分野に関連した、広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。 時事問題について、いろいろな可能性の長所、短所を示して自己の見方を説明できる。	いろいろな情報や議論をまとめて評価した上で、自分の関心がある専門分野の多様な話題について明瞭で詳細な文章を書くことができる。
総学習時間 総単位時間		700～1070時間 935～1428単位時間					

[※1] 1単位時間は45分。「地域における日本語教育の在り方について（報告）」p.64において示された学習時間の考え方で示された学習時間数。
[※2] 各レベルの目標は「日本語教育の参照枠（報告）」p.23-48「言語活動別の熟達度」、「活動Can do一覧」を参考に作成。

レベル		学習時間[※1]	留学分野における言語活動ごとの目標[※2]				
			言語活動共通				
			聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
任意の設定レベル	C1	350～550時間 467～734単位時間	いろいろな種類の高度な内容のかなり長いテクストを理解することができ、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流ちょうに、また自然に自己表現ができる。社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。				
			抽象的で複雑、かつ未知の話題でも、グループ討議やディベートでの第三者間の複雑な話し合いを容易に理解できる。 相当数の俗語や慣用表現のある映画が理解できる。	社会、専門、学問の分野で出合う可能性のある、ある程度長い、複雑なテクストを詳細な点まで理解できる。 意見表明だけでなく、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解できる。	説得力をもって公式に主張を展開でき、質問やコメントに応じ、複雑な筋立ての対抗意見にも、流暢に自然に適切に応えることができる。 感情表現、間接的な示唆、冗談などを交ぜて、社交上の目的に沿って、柔軟に、効果的に言葉を使うことができる。	複雑な話題について、明瞭かつ詳細な記述やプレゼンテーションができる。 下位テーマをまとめたり、一定の要点を展開しながら、適当な結論にもっていくことができる。 聴衆からの不意の発言にも対応することができる。 ほとんど苦労せずに自然に反応できる。	複雑な話題について、明瞭な構造で、きちんと記述し、重要な関連事項を強調しながら、書くことができる。 補助的な観点、理由、関連する事例を詳細に加えて、特定の視点からの論を展開し、ある程度の長さの文が書ける。

[※1] 1単位時間は45分。「地域における日本語教育の在り方について（報告）」p.64において示された学習時間の考え方で示された学習時間数。
[※2] 各レベルの目標は「日本語教育の参照枠（報告）」p.23-48「言語活動別の熟達度」、「活動Can do一覧」を参考に作成。